

ガラポン 2001!!

毎週土曜日
午前10:00~10:25
テレビ東京系
全国6局ネット

資料は一部インターネット
でもご覧いただけます。
URL <http://www.ohmae-report.com>

大前研一語録 判断力



方向にもって行く独裁者の出現につながるかもしれないとその長所と短所に言及。まためでは、ゲームでも何でもやらせて、自分で苦い思いを体験し、良識を学ぶことでその判断力を養えるという。これからの世界は今までの物理的な制限がなくなりバーチャルで世界は際限なく、次元も違うようになる時に、良い、悪いの判断を親や先生が教えるというよりは百害あって一利なしだと指摘する。自分でこれがいいのかわかるのか、この利用範囲はどこまでだという判断力を持つということが、二十一世紀で一番重要な能力になってくると結びました。

第35回

11 25

バーチャルアイドルから21世紀が見える!

バーチャルアイドル・テライユキ、コンピュータグラフィックスによって作られたアイドルだが彼女をただのCGキャラクターと思つたら大間違い。写真集は発売後一カ月で万部を完売。CDデビューやTV番組組への出演や企業のイメージキャラクターまで、彼女の売り上げは、ベテラン演歌歌手にも匹敵する。現在、映画やテレビゲームなど、メディアの世界で活躍するバーチャルアイドルのブームは日増しに高まっている。その人気の秘密は体何か? 今、メディアの世界で起きている変化が単にそこだけにとどまらず、私たちの社会や経済、ひいては個人が二十一世紀にどうやって生き延びていくかというのを考えさせる現象なのではないかと、今回はいつもと違う角度で二十一世紀の日本を考えていきます。前半には、テライユキ制作サイドのインタビューをはじめ、ブローグまでである韓国でのオンラインゲームの世界や企業家コンテスト、ビジネスジャパンオープンで入賞したアイキヤラというアイデアも関係者のインタビューを交え紹介。バーチャルの世界の広がりが現在どこまで進んでいるかを考察します。大前研一は、売れるキャラクターには、Emotional attachment(感情移入)ということが重要になるとマイケルジョーダン、タイガー・ウッズなどの例を挙げ解説。また、アイキヤラには、クラスターという共通の興味を持ったグループを仮想空間上で見つけ、いろいろな人たちに接触し、意見や意志などを伝え、それに反応すれば重要な情報を与えるという特徴があると指摘する。バーチャルの世界がどんどん発達していった場合には、ゲームにしても自分でシナリオを考えない限り何も起こらないという頭の使い方が、今までの教育よりもプラスになる可能性や、また、日本の将来に対してもその危機感を実感させるといつような有効なこともある反面、非現実的な人間形成を助長させたり、それらをうまく操作する人間が出て、多くの人を一つの宗教や全体主義的な方向にもって行く独裁者の出現につながるかもしれないとその長所と短所に言及。まためでは、ゲームでも何でもやらせて、自分で苦い思いを体験し、良識を学ぶことでその判断力を養えるという。これからの世界は今までの物理的な制限がなくなりバーチャルで世界は際限なく、次元も違うようになる時に、良い、悪いの判断を親や先生が教えるというよりは百害あって一利なしだと指摘する。自分でこれがいいのかわかるのか、この利用範囲はどこまでだという判断力を持つということが、二十一世紀で一番重要な能力になってくると結びました。

バーチャル技術の可能性	
分野	これからのバーチャルリアリティー
教育	インターネットで授業を公開し、単位を取得できるようになる。 1検査・手術シミュレーション 手術が必要な患者がいた場合、事前に3次元画像とコンピュータを組み合わせたシミュレーションを行うことによって、最適な手術方法を選べる。 2遠隔地医療のためのコンサルテーションシステム 診断の困難な症例に当たった医師は以前の診断画像をバーチャルリアリティーの3次元空間で比較することができる。また、3次元の仮想空間の中で専門医と症例の検討を行ったりできる。 3仮想人体・仮想臓器の利用 仮想人体・仮想臓器を実際の解剖の前に何度かみることで、教科書の2次元的な把握からさらに3次元の臓器の位置関係を把握できる。 4VRシミュレーションへの応用 患者の頭にゴーグル型のディスプレイ装置をつけてVRを行う「バーチャルセラピー」。動画は公開を散歩する設定になっていて、患者自身の動きによって周りの風景も変化していく。バーチャルリアリティーにより、日常に近い内容で訓練・リハビリが行われ患者の回復への意欲増進につながる。 5立体的な3次元の画像で、家具の配置・壁や床の変更・照明器具の位置を自由に設定でき、実際に住みやすい建設設計を行える。 資料:ガラポン調べ
医療	
建築	

Personal Data

テライユキ

生年月日: 9月1日
年齢: 1歳
出身地: 千葉県
身長: 166cm
体重: ひまみつ
バスト: 86cm
ウエスト: 59cm
ヒップ: 85cm
好きな色: 白、黒
(モーションが好き)
好きな食べ物: スイカ、イチゴ
とか果物
好きな音楽: ジャズ
尊敬する歌手: サラ・ボーン、ビリー・ホリデー
趣味: インターネット、お散歩、ツーリング、写真

資料:テライユキ公式オフィシャルサイト(HP)より

第36回

12 2

21世紀の選挙制度

国民の大多数が総理を支持しないにもかかわらず、内閣不信任案を否決した日本。ペルーでのフジモリ問題。そして、大混乱に陥つたアメリカ大統領選挙。今、世界中でこの選挙、トップをどうやって決めるかという問題は問題になっている。そこで今回は、二十一世紀最後の月にふさわしく、あらためて民主主義の根本を成す、「選挙」というのは何なのかを考えていきます。まず、アメリカ大統領選挙の仕組みを今回の選挙で吹き出してきた問題である、投票システムの問題、選挙人制度の問題を中心に詳しく解説。さらに今やアメリカだけでなく各国で起きているという選挙制度の矛盾を「投票率の低下」、「政党というものの意味がなくなつた」、「選挙そのものが他国の影響を受けるようになってきている」という3つの観点から分析する。大前研一は、二十一世紀に堪えられる選挙制度を行なっている国はどこにもないが世界中の国から学ぶべきことはあるという。例えば投票率が下がっている国では、投票率の高い国が選挙を権利ではなく義務と規定したり、罰則を設けたり、投票の機会と場所を広げている点を研究すべきだと指摘する。また、個人を選ぶ大統領制にするのか、政党を選ぶ首相制にするのかということが大きな分かれ道になり、その任期の問題にも着目すべきだと、高投票率国の投票制度や各国首相の任期と多選年数をフリップを使い紹介。

選挙後半には大前流理想の選挙制度として、投票率を上げて民意を反映させるためには、政党という概念が崩壊してきている現在、トップは政党ではなく個人で出馬させ、投票は電子投票で行ない、票の入れ方は必ずしも1票1票ということでない、マイナスマスまで含めたポイント制にし、腐敗の温床にならないように多選のハードルを高めていくようなことも含め、多選禁止を唱える。さらに、世界の国々が非常に相互依存性になってきている今、自国の選挙に他国の投票権を経済の相互依存性によって認めることにより、前世紀からの民主主義の欠点の一つである国内政治だけで政党を選び、党首、大統領を選ぶ制度は変わっていくだろうと言及。世界中で選挙制度問題で論争が起つた時には、日本も負けずに、憲法で規定しているからダメだと言つては、本当に日本としていのは何かという二十一世紀に堪える選挙制度の議論をゼロから始めてもらいたいと締めくくりました。

大前研一語録

大前流・理想の選挙制度

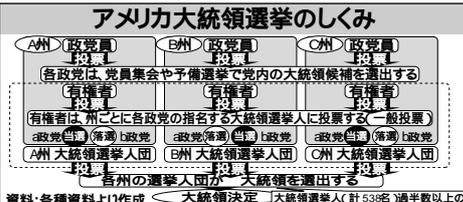
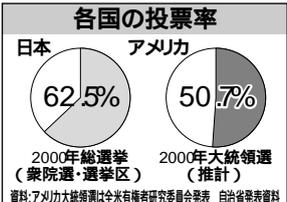
個人で出馬、投票は電子投票、ポイント制に

多選禁止

他国の投票権を認める

高投票率国の投票制度		
国名	投票率	投票制度
シンガポール	90%	2歳以上の全国民の義務と特定候補者との指名選挙(選挙人名簿から抹消、罰金で再登録)
オーストラリア	90%	1歳以上の全国民に強制投票(選挙日には罰金)優先順位付投票方式(全候補者に順位を付ける)
エストニア	86%	1歳以上の全国民の義務と規定
イタリア	83%	憲法で投票は市民の義務と規定。1歳以上の全国民に強制投票(正当な理由のない選挙権者は氏名を提示)
スウェーデン	81%	1歳以上の全国民に選挙権。郵便局、在外公館での投票可能。特設投票所(病院、老人ホームなど)も投票

資料:各国の国政選挙におけるデータ ガラポン調べ



各国首相の任期と多選年数			
国名・役職	選出方法	任期	多選年数
アメリカ大統領	間接選挙(選挙人制度)	4年	最大2回・連任禁止
フィリピン大統領	直接選挙	6年	再選禁止
韓国大統領	直接選挙	5年	再選禁止
メキシコ大統領	直接選挙	6年	再選禁止
ペルー大統領	直接選挙	5年	再選禁止
フランス大統領	直接選挙	7年	再選制限なし
ドイツ大統領	間接選挙(連邦議会による選出)	5年	最大1回・連任禁止
イギリス首相	閣議選出(下院 衆議院の中間選挙)	下院 5年	再選制限なし
日本内閣総理大臣	閣議選出(国会議員の中から、国会の議決で指名)	衆議院 4年	再選制限なし

資料:ガラポン調べ

選挙が他国の影響を受ける例

移民の問題 イスラエル、ロシア
ロシアから移住してきたユダヤ人が増えているため、ロシアの影響を無視できない

外交の問題 台湾、中国
2000年総選挙は、実質的に「中国をどう思うか」で投票

地域紛争 民族や宗教の対立
カシミール地方領有問題(インド・パキスタン)
北アイルランド問題(イギリス・アイルランド)

資料:ガラポン調べ

各国が抱える選挙の問題点

投票率が低下している
投票の義務に罰金制度を設けている国は高投票率 投票を義務と考えている国・地域は投票率が低いが、権利と投票してはならないと、投票率が低い

政党というものの意味がなくなった
政策の争点が細分化し、有権者の支持を得る事が難しい
自由主義と社会主義、など明確な区分けがなくなった
選挙が他国の影響を受けるようになってきている
他国からの移民と外交政策の問題
地域紛争が政争の道具になっている

資料:ガラポン調べ

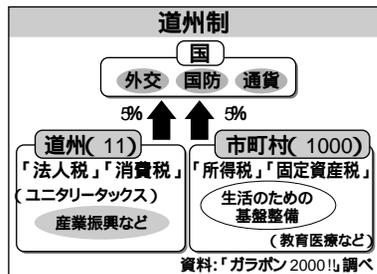


関連記事
本通信 P 4
「思い出の論文」

ドイツの税収

連邦	・338,405
州	・328,217
市町村	93,946
EC自主財源	39,449
合計	800,017

データ: 1996年 資料: ドイツ大使館HPより



ユニタリー・タックスの仕組み

例: カリフォルニア州政府の日本企業B社に対する課税(親会社A社)

カリフォルニア州内での事業が赤字

世界全体では黒字

子会社B	関連会社	子会社	関連会社	親会社A	本社グループ
カリフォルニア州	フロリダ州	NY州	大阪	東京	世界全体

赤字: -90, 50, 60, 70, 40

黒字: 70, 40

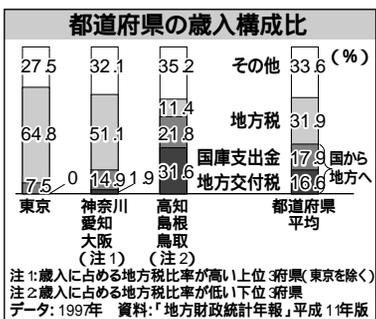
資料: OHMAE&ASSOC ATES調べ

東京都の外形標準課税

年度末の資金残高が500万円以上の都銀・地銀・信託銀行・日銀・長信銀などを対象
本店の所在地にかかわらず、都内に支店があれば課税される
「業務粗利益」を課税標準とし、税率は3% (農林中央金庫など特別法人3法人は2%)
5年間の時限措置とし、
2001年3月期決算からの適用予定
資料: 朝日新聞(2000.2.8)より抜粋

銀行協会側の言い分は?

新税導入は納税者の納得を得る事が大前提。銀行だけを対象とすることは、不公平であり、税率を含めその根拠が不明確。
銀行は、納税に見合う行政サービスを受けていないし、特別な行政サービスを受けているわけでもない。
内外からの「東京」に対する信認に影響を及ぼす。など
資料: 日本銀行協会HPより



外形標準課税とは?

企業規模など外形的に一目でわかる基準によって税額を決める課税方式
自治体にとっては景気に左右されずに安定的な税収を得る利点がある
資料: 朝日新聞(2000.2.8)より抜粋

地方税ってなんだ?!

第2回
今年、二月初頭、石原慎太郎東京都知事が国の税制制度に「石を投じる」外形標準課税構想を発表。当初は大手銀行と東京都の戦いと思われていた問題も関係各所の思惑が複雑に絡まり、今では国と地方自治体の財源をめぐる議論にまで発展しつつある。大前研一は、この問題はどうかしたら地方は自立できるのかということに投げかけた問題でもあると指摘する。
番組では、外形標準課税とはどんな税制度なのか。また、日本よりも地方自治が発達しているドイツ、アメリカの税制やユニタリー・タックスと呼ばれる税の仕組みなども詳しく解説。そもそも、税金は誰におさめるのか? 「何に使おうべきなのか?」どのように徴収すべきか? といった事に焦点を当てていきます。
番組後半には、今回、外形標準課税という新しい武器で従来の考え方に多いに刺激を与えてくれたことについて、東京都のやったことは賛否両論あつてよく、多いに議論すべきだが忘れてならないものと大きな問題は、道州制を視野に入れ、地方が中央に頼らず、経済自立できる単位をどうやってつづけていくと、ということが日本の一番大きな課題だと結びました。

Today's POINT

自立なき自治はない
(税は再配布しないで
経済自立できる財源を自治体に)



アントレプレナー・コンテスト 第1回ビジネスジャパンオープン

応募総数 381
1次審査通過数 50
2次審査通過数 20
3次審査通過数 12
応募者平均年齢 34歳
最年少 19歳
最高齢 66歳
資料: ビジネスジャパンオープン

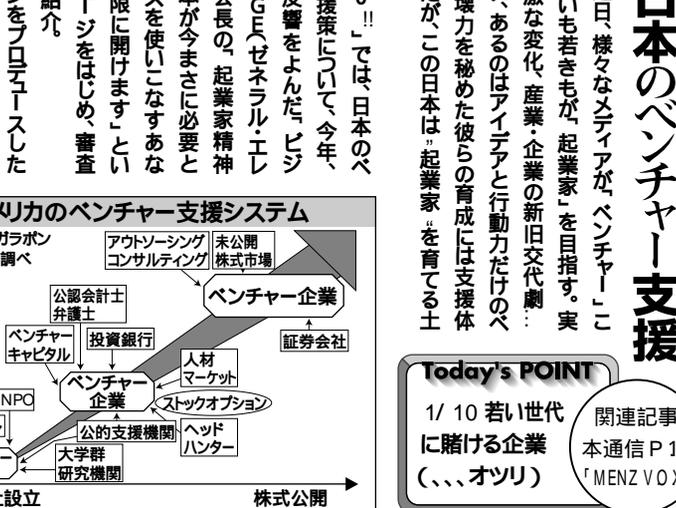
第1回ビジネスジャパンオープン授賞プラン

賞	授賞プラン	授賞者
大賞	「ロジスティクス業務の包括アウトソーシング受託事業」	嶋正和 (36)
特別賞 (孫正義氏)	「CMプロジェクト」	菅谷俊二 (23)
モルガンスタンレー・ディーン・ウィッター賞	「建築向け動的CADデータ変換事業」	高橋君忠 (29)
GE賞	「Web HOT Line」	村田利文 (43)

資料: 「ガラポン2000!!」調べ

どうする!! 日本のベンチャー支援

第3回
空前のベンチャーブーム連日、様々なメディアが「ベンチャー」を日本を救うと宣伝し、若いも若きもが「起業家」を目指す。実際は時が来たか、時代の急激な変化、産業・企業の新旧交代劇... 十分な資金もない、信用もない、あるのはアイデアと行動力だけのベンチャー起業家。時代を変える破壊力を秘めた彼らの育成には支援体制のネットワークが大切である。だが、この日本は「起業家」を育てる土壌を持っているのだろうか?
そこで今回の「ガラポン2000!!」では、日本のベンチャーをとりまく状況とその支援策について、今年、三月二十九日に開催された大きな反響をよんだ「ビジネスジャパンオープン」の模様を、GE・セネラル・エレクトリック(社)社長、ウエルチ会長の「起業家精神を持ったあなたの方の貢献こそ、日本が今まさに必要としているものなのです。Eビジネスを使いこなすあなた方がいる限り、日本の将来は無限に開けます」というコメント参加者に対するメッセージをはじめ、審査員、受賞者の声などを織り交ぜて紹介。
今回のビジネスジャパンオープンをプロデュースした大前研一は、アメリカのベンチャー・キャピタルの規模と比べ、もし日本の千一兆の個人金融資産の十分の一の百一兆が若い人にくればオツリがくるし、日本の活性化につながるっていく。人材的にも、選色ない人たちが出てきてくる日本では、今後、アメリカのように年齢や世代を超え、いろいろな経験者と若い世代が組んで事業をやっているような出合いの場が鍵のように思えると訴えました。



Today's POINT

1/10 若い世代に賭ける企業 (...オツリ)

関連記事
本通信 P 13
「MENZ VO X」